

議 事 録

団体名称と責任者氏名

近畿大学校友会化粧品支部 支部長 亀田 宗一



会議の名称	第五回化粧品支部総会	開催年月日	令和五年七月二十九日	自	十八	時
会議の名称	ホテル日航大阪	出席人数	四十四	別紙記載		
会場の所在地	大阪市中央区西心斎橋一―三―三	出席者				
議 事 (一切の経過を含む)						
①支部長挨拶						
化粧品支部支部長 亀田宗一から挨拶の言葉						
近畿大学には地域支部、職域支部、専門職支部及び各学部と同窓会がありその中で各卒業生が活動している。我々は化粧品に関係のあるまたは化粧品が好きなたに集まって頂いており今日は近畿大学の学生を就職させて頂いている会社の社長様にも来て頂いている。絆は年齢に関係なく本日は学生の方にも来て頂き幅広く四十七名の方に来て頂いた。						
化粧品支部は社会貢献としてリエゾンセンターで地域の社会に役立つことを各会社が近畿大学と共同研究できるような仕組みを作っている。近畿大学の卒業生が就職している会社と近畿大学が一つになり社会貢献するものを作っていく。						

学校支援としては卒業生を幅広く受け入れている。 本日は四年ぶりに集まり、楽しいひと時を過ごすことができるよう祈念して開催の挨拶とする。

②近畿大学校友会執行部会計 植田 潔様から挨拶の言葉

本日は近畿大学校友会香粧品支部総会の開催、誠におめでとうございます。 校友会の三つの柱「校友の絆・社会貢献・近畿大学の支援」を中心に校友会も活動支援を行っております。 地域支部が百、職域支部が六十六、専門職支部が十、その他一支部を合わせて一七七支部が活動しております。 三月現在、校友が五十七万人在籍しており組織としてもますます大きくなっています。 校友会の行事のひとつで定期総会が今までウェブで発信されてきましたが、今年十月七日（土）には東大阪キャンパスで行われます。 昨年、経済的に厳しい一人暮らしの学生に対して食材支援を行いました。 今年も少し予算規模を上げて支援をして行く予定です。 去年十二月には近畿大学の各キャンパスで予選会を勝ち抜いた学生を東大阪キャンパスの情報学部棟に集めてeスポーツを実施しました。 最後にはお願いですが、令和七年に近畿大学が百周年を迎えます。 これに関しても是非、ご協力をお願いしたいと思います。 香粧品支部長始め総会の開催にあたりましてご尽力頂きました皆様方に感謝を申し上げます。 皆様方のご挨拶とさせていただきます。 本日はお招き頂きありがとうございます。 ございました。

③活動報告

二〇一九年七月七日京都支部総会参加。 七月十九日幹事会会員七十七名登録。 七月二十七日第四回支部総会日航ホテル大阪。 十月十九日定期総会とホームカミングデー。 二〇二二年九月十四日近畿大学リエゾンセンターと懇話会。 十一月二十八日香粧品支部幹事会。

④活動計画

二〇二三年七月十一日総会準備幹事会。 七月二十九日第五回香粧品支部総会。 九月二日支部長同窓会長会。 九月十日神戸支部総会。 十月七日定期総会。 十一月以降近畿大学就職部打合せ、リエゾンセンター打合せ。

⑤会計報告並びに会計監査報告

【収入】 前期繰越金百三十四万七千七百六円。 近畿大学祝金二万円。 近畿大学校友会祝金五万円。 寄付金百八万円。 第三回支部総会会費（五十四名）二十七万円。 利息四十九円。 合計二百七十六万七千七百五十五円。

【支出】 名刺代（亀田）二千三百十円。 幹事名刺代二万五千六百三十円。 定期総会日航ホテル支払い五十七万五千六百円。 マジックショー八万八千五百六十円。 幹事会費用三万八千八百八十円。 振込手数料三千八百三十四円。 ホームページ管理費五万五千三百九十円。 近畿大学食事費用二十万円。 切手代壺万六千五百六十一円。 事務用品代千三百八十二円。 小計百万八千四百四十七円。 次期繰越金百七十五万九千六百八円。 合計二百七十六万七千七百五十五円。 令和元年七月一日〜令和五年六月三十日までの収支報告について間違いのないことを報告する。

⑥ 寄付を頂いた校友受入企業紹介

岩瀬コスファ株式会社様。 カタイヤ商店様。 ケーアイケミカル株式会社様。 株式会社グラセル様。

株式会社三香堂様。 東洋ビューティ株式会社様。 山本通産株式会社様。 八洲薬品株式会社様。

モアコスメティックス株式会社様。

⑦ 講演会「アレルギーについて」

化粧品支部長 亀田宗一

アレルギーの原因は体に備わった生体防御システムが、体外から入り込んでできた異物を排除しようとして過剰に反応する時にアレルギーが起こる。 免疫とは体の中に悪玉の細菌やウイルスなどの異物（抗原）が侵入した時にそれを

排除する生体防御の仕組み。 アレルギーの原因となる抗原がアレルギーで病原体として体内で悪さを働く細菌やウイルスなどは根本的に性質が異なる。 一般的にアレルギーはI型アレルギーとIV型アレルギーを指す。

I型アレルギーは花粉症や気管支喘息・食物アレルギーなどの即時型でIgE抗体の動きによる反応である。

IV型アレルギーはツベルクリン反応や接触性過敏症などの遅延型でリンパ球（ヘルパーT細胞）による反応である。

アレルギーの対策として、お酢系洗浄剤で洗うことによつて肌バリアを壊さない。 また保湿・保護によるバリア

機能向上によつてアレルギーのブロックを強固にする。 肌アレルギーだけでなく食品アレルギーなども肌バリア低下

により引き起こされると考えられるため、低刺激の正しい洗浄は特に重要。肌バリアを壊すと角層が壊れ紫外線やアレルギーの外的要因が簡単に皮膚の中に入り込む。角層が壊れていないと全て跳ね除けて皮膚の中に入らない。如何に角層を守るかを心がければアレルギーにはなりにくい。

⑧講演会「SDGsの発想を健康維持に　く果樹に機能性を求めてく」

近畿大学附属農場湯浅農場 准教授 伊藤 仁久氏

附属農場は近畿大学直轄の教育研究機関として、和歌山県に二つの農場（生石農場・湯浅農場）を所有している。

生石農場は一九五七年、旧清水町地区に牧場を開設し、酪農・畜産の研究を行い、一九八三年に合鴨を導入。

近大おいし鴨は合鴨の肥育研究に注力し、地の利を活かしたブランドを商品化した。

湯浅農場は一九五二年に農芸化学研究所を湯浅町に開設。近畿大学初代総長の世耕弘一先生が農業の分野で

地元へ貢献するために農場を開設。悪条件の土地を科学技術で改良することが大学人の使命との思いのもと荒地を

農地へ生まれ変えた。現在は柑橘類としてミカン以外にもマンゴーやウメ、米などを主力に栽培し研究を行っている。

これまでの機能性研究の成果として・抗アレルギー効果（シキキツ果実）・肥満予防効果（ウンシユウミカン葉・

ウンシユウミカン花・アーウィン葉）・老化予防効果（アーウィン葉・十七品種葉）・抗酸化効果（アーウィン葉）

などがあげられるが、本日は老化予防効果についての話をしたい。

老化の原因としては細胞の酸化があるがそれ以外にも糖化という現象がある。糖化により脱毛・抜け毛・糖尿病・動脈硬化・アルツハイマー・しわ・シミ・骨粗しょう症など人体に影響を与える。糖化は体の中で終末糖化産物（AGEs）が作られる。このAGEsが体内の老化を招く。一度できるとなかなか取り除くことができない。AGEsをためないためには、適度な運動・質の良い睡眠・ストレスをためない・禁煙や適度なアルコールを心がけることが大切である。また今からできる食べ方として・AGEsを多く含む食品（ファーストフード・揚げ物）を食べ過ぎない・血糖値を上げにくいGI値が低いものを食べる・食物繊維が多いものから食べる（ベジファースト）・ファーストフードはなるべく避ける・甘味つけされた清涼飲料水は控えめに・箸置きを使い時間をかけてゆっくりと食べる・甘いものは間食でなくデザートで。

糖化を防ぐ食材としての一つがハーブ。ローズマリー・カモミール・ラベンダー・ペパーミントなどを夕食後に飲むのがおすすめ。コショウ・サンショウ・ターメリック・パプリカ・クミン・チリパウダー・シナモン・ローリエなども糖化を防ぐスパイスとして知られる。

糖化を防ぐ魔法の食材としてマンゴーがあげられ、近畿大学附属農場では一九八七年から栽培を開始しており、年間二トン出荷している。マンゴー栽培の過程で得られる未利用農産資源（花・葉・種子・果皮）が機能性を持たすような素材になり得ないかの研究を行い「葉」に注目した。注目理由としてせん定で大量に葉が得られ、インド・

<p>タイで古くから食経験があったことがあげられる。 実験結果で葉は四十三$\mu\text{g}/\text{ml}$のAGES産生抑制作用を示した。</p> <p>有効成分の【mangiferin】には葉エキス一gから八十五・一mg、【3-C-β-D-glucosyl-2,4,4',6-tetrahydroxybenzophenone】が二百五・九mgと非常に高含有で天然物界において稀有。</p>
<p>SDGs達成に向けた取り組みの紹介</p>
<p>・オール近大の新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクトの一環として、手洗いの推進を目的に地元・湯浅町と有田川町の小学校と中学校に近大石鹸を寄贈し令和三年八月にアドベンチャーワールドで寄贈式も開催した。</p>
<p>・二〇一八年から近大葉草鴨の開発研究を行い、鴨の肉質向上で近大おいし鴨をブランド化した。 肉質は柔らかく獣臭さが軽減され甘みも増しているとのアンケート結果が得られた。</p>
<p>・八旗農園の「あら川の桃」、湯浅農場の「近大みかん果皮」といった未利用資源を利用した和歌山フルーツコーラの開発研究を二〇二三年から開始している。</p>
<p>⑨ 質疑応答</p>
<p>質問なし。</p>
<p>⑨ 記念撮影</p>

出席者による記念撮影を行い、本会の記録とした。

以上